

# こども財団だより

CHILD FOUNDATION NEWS



- 第30号 -

こども財団の取組を紹介する季刊誌です

—放課後に子どもたちがランドセルを背負って帰ってくる場所—

## 明石放課後児童クラブ

こども財団は、明石市内のすべての小学校敷地内28カ所にある放課後児童クラブを運営しています。保護者が仕事などで昼間家にいない小学生を対象に、放課後や長期休みの間、安心して遊んだり、宿題などができる場所を提供しています。子どもたちが安全に楽しく過ごしながら心身ともに成長できるように、支援員が見守り、さまざまな活動を行っています。

そんな放課後の時間を子どもたちとともに作り上げる

**「放課後児童クラブ支援員」**をご紹介します。

放課後児童クラブ  
支援員とは

- 1 支援員**  
下記①～⑥のいずれかに該当し、認定資格研修を終了した方
- 2 準支援員**  
下記①～⑥のいずれかに該当する方
- 3 補助支援員**  
資格不問



- ①保育士の資格のある方
- ②教員免許のある方
- ③社会福祉士の資格のある方
- ④大学または大学院において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学、もしくは体育学を専修する学科またはこれらに相当する課程を修めて卒業した方
- ⑤高校卒業以上で2年以上児童福祉事業に従事した方
- ⑥5年以上放課後児童健全育成事業に従事した方

支援員の声

毎日、子どもたちから笑顔と元気をもらい、自分も元気になれる仕事です。



支援員Aさん

クラブを巣立った後も、顔を見せにきてくれる子どもたちの、人生の一コマに関われる喜びがあります。



支援員Bさん

### 放課後児童クラブ 支援員のある一日

※長期休暇、行事等により異なります



#### 13:00 開所

清掃、その日の活動・連絡事項の確認など子どもたちを迎えるための準備を行います。

#### 14:30 「おかえり!」子どもたちをお迎え

「ただいま!」と帰ってくる子どもたちを迎えます。

#### 15:00 宿題

一人ひとりの様子を見守りながら、宿題に集中して取り組めるようサポートします。

#### 15:30 おやつ・遊び

子どもたちが楽しみにしている時間です。外遊び・工作・ゲームなど子どもたちの「やりたい!」を応援しながら、安全に過ごせるように見守ります。

#### 16:45 終わりの会

#### 17:00 「さようなら、また明日!」・延長育成

お迎えに来る保護者の対応を行います。1日を振り返り、翌日の準備を行います。

#### 19:00 閉所

あなたも放課後児童クラブ支援員になりませんか?

## 放課後児童クラブ支援員を募集中!

未経験でも、短時間(週2回〜)でも、丁寧に研修を行います。ご興味のある方はお気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ先】公益財団法人こども財団 放課後児童クラブ担当 ☎ 078-915-8170

ホームページは  
こちらから↓



こども食堂について、地域の気づきの拠点としての機能強化を図るとともに、子どもを主体とした居場所となるよう、こども食堂運営者等を対象に「こども食堂研修会」を開催しました。

## 講義

### 「子どもの心のSOSを受け止める ～こども食堂運営者のための関わり方～」

講師：安東 大起 氏  
一般社団法人パーマナント・クリエイティブ・マインド



ゲートキーパーの役割を実践することで、子どもたちが抱える悩みに寄り添い、必要な支援に繋げる重要性を学びました。

#### ゲートキーパーとは・・・

特別な資格は不要だが、自殺に関連する正しい知識を普及したり、自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、見守ることができる人。

#### 気づく ～変化やサイン～

子どもたちの生活や行動の変化を察知する。食欲や睡眠、身体的な不調、表情や態度の変化など悩みのサインに気づく。

#### 声かけ ～自然なコミュニケーション～

子どもたちが心を開きやすいよう構えず、自然な会話を心がける。「最近眠れてる?」「何か悩んでる?」といった声かけを通じて、子どもたちが話しやすい雰囲気を作る。



#### 傾聴 ～悩みを受け止める姿勢～

子どもたちから悩みなどの相談があった際、頭ごなしに否定せずに、まずは受け止める。話を聞いたら、「話してくれてありがとう」「大変だったね」「よくやってきたね」と、ねぎらいの気持ちを言葉にして伝える。

#### つなぐ ～行政等との連携～

子どもたちが必要な支援を受けられるよう、行政や専門機関に早めにつなぐことが重要。情報提供は丁寧に、子どもたちが安心して相談できる環境を整える。

#### 見守り ～継続的な見守り～

子どもたちが関係機関につながった後も、温かく寄り添いながら見守りを続ける。関係性を壊さず、必要に応じて支援を提供するという姿勢を持ち続ける。

## 意見交換会

### 「～こども食堂についての情報共有～」

運営するこども食堂について

- 1. 特徴や強み
- 2. 課題や困りごと
- 3. その他



の3つのテーマで5～6名のグループに分かれて意見交換を行いました。



#### 1. 特徴や強み

- ・子どもたちと一緒に調理する。
- ・季節行事を取り入れた工作を実施している。
- ・小学生から大学生まで、障害のある子どもなど、幅広い世代が参加している。
- ・専門職が常駐している。

#### 2. 課題や困りごと

- ・担い手が不足している。
- ・地域の子どもたちへの効果的な周知方法が知りたい。
- ・物価高騰が食材費に影響している。

#### 3. その他

- ・子どもたちとの関わりが楽しい。
- ・様々な学年と一緒に遊べるゲームや遊びを知りたい。
- ・学校との繋がりを強化したい。

# こども夢文庫研修会・交流会

開催場所：西日本こども研修センターあかし 2階研修室  
明石市立二見図書館 ふたみん

明石市内に8カ所ある「こども夢文庫」の運営者を対象とした今年度のこども夢文庫研修会・交流会は、前半はグループワークを通じた情報交換・交流を行い、後半は明石市立二見図書館ふたみに移動して、図書館の施設・取組の見学等のほか、明石市本のまちづくり推進アドバイザーの吉成氏を交えた意見交換会を行いました。

## 交流会

### 「こども夢文庫の活動について」

各こども夢文庫の運営者の皆さまが3つのグループに分かれ、普段の活動の中で、“うまくいったこと” “活動で壁となっていること” “その他(変えてみたいことや今後やってみたいこと)”をテーマに情報交換を行いました。



運営者の皆さまは、お互いに交流を深めるとともに、今後の取組の参考となる他のこども夢文庫での活動の工夫や、悩みなどを共有されました。

## 見学会 & 意見交換会

### 「明石市立二見図書館ふたみんの見学」

二見図書館業務責任者の助代氏に、施設を案内していただき、本の掲示の工夫や、利用者が自由に質問や返答を書き込める「ふたみのまちの交流伝言板」など独自の取組などについて説明いただきました。

#### 施設案内



#### 本のまちビジョン

本のまち担当次長兼二見図書館館長の中川氏から、明石市が進めるあかし本のまちビジョンの概要を説明いただきました。



また、本のまちビジョンにおけるこども夢文庫の位置づけや期待される役割などについても説明いただきました。

#### 意見交換



明石市本のまちづくり推進アドバイザーの吉成氏とこども夢文庫運営者の皆さまによる対話形式での意見交換が行われました。

#### いつでも行ける身近な場所に本があることの意義

子どもたちのワクワク・ドキドキにつながるよう

従来の形式にとらわれず楽しみながら読み聞かせすることの大切さ

などのお話をいただきました。

二見図書館さま、明石市本のまち担当さま、そして明石市本のまちづくり推進アドバイザー吉成さま、ご協力ありがとうございました!

# 放課後児童クラブを紹介するコーナー ～シリーズ 放課後児童クラブ～

今回は「王子児童クラブ」を紹介します！

王子児童クラブでは1年生から6年生まで132名の子どもたちが過ごしており、個々のやってみいたいという気持ちを大切にしています。育成の中には、様々な活動があります。特に遊びの時間では、学年問わず仲良く過ごす姿が印象的です。遊びを通して、子どもたちが主体となりルール決めやチーム構成を行います。その際に、上級生が下級生に配慮する姿を目にします。また、行事では、子どもが企画や準備を行い、みんなで参加します。終わりの会の司会や進行なども、自ら実践する機会を設けています。子どもたちと生活する中で日々成長を感じ、クラブでの様子を保護者の方にお伝えしていけたらと思います。

『楽しく、安心、安全に過ごせるクラブ』であるよう、支援員一同で見守っています。



あなたも放課後児童クラブで働いてみませんか？  
興味のある方はお気軽にご連絡ください！

放課後児童クラブ担当 ☎078-915-8170

## こども 食堂 レポート

今回は、鳥羽小学校区の  
「鳥羽こどもふれあいレストラン」  
に行ってきました。

鳥羽校区にあるコープ西明石にて開催されています。地域のボランティアスタッフの方々が、温かな気持ちのこもった手作りの食事を用意して、子どもたちを迎えています。



会場は、ボードゲームやカードゲームで遊ぶ子どもたちの賑やかな声で溢れていました。中には、友達同士で宿題に取り組む様子も。子どもたちが自分の好きなことをして過ごせる空間になっています😊

美味しい食事を皆で食べた後は、明石南高校ボランティア部の学生さんによるカルタ大会！どのテーブルも大盛り上がりで、皆真剣に札を取り合っていました。



次はこの食堂に行こうかな・・・次回もお楽しみに♪

## こども食堂等へのあたたかいご支援を ありがとうございます

| ご提供者          | 提供先   | 提供品           |
|---------------|-------|---------------|
| 明石西ライオンズクラブ様  | こども食堂 | 米             |
| 株式会社創味様       | こども食堂 | 丹波種黒豆         |
| 明石地域振興開発株式会社様 | こども食堂 | お菓子           |
| 個人様(2名)       | こども食堂 | 米<br>炊き込みご飯の素 |



## 西日本こども研修センターあかし National Training Center for Prevention of Child Abuse and Neglect

### 子ども時代の逆境体験と、地域がつくる「支え」

近年の研究では、子ども時代に虐待、近親者の死、家庭内暴力などの逆境体験を経験した人は、おとなになってからも健康面や社会経済面でさまざまな影響を受けやすいことが明らかになっています。

一方で、たとえ逆境体験があったとしても、「自分の気持ちを誰かに話せた」「親以外にも自分を気にかけてくれるおとながいた」といった肯定的な体験があることで、その悪影響が和らぐこともわかってきました。

日常のちょっとした関わり、  
一挨拶を交わす、気になったら声をかける—  
そんな小さな行動が、子どもや家族を孤立させず、地域の中で安心できるつながりを生み出します。

私たち一人ひとりのさりげない関わりが、誰かの未来を支える力になるのですね。

研修企画員 浅川 のぞみ

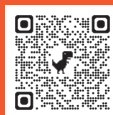


〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番7号

電話 078-920-9670 FAX 078-920-9671

メール info@akashi-kodomo-zaidan.jp

HP https://akashi-kodomo-zaidan.jp



### 所在地 略図

